

環 境 係

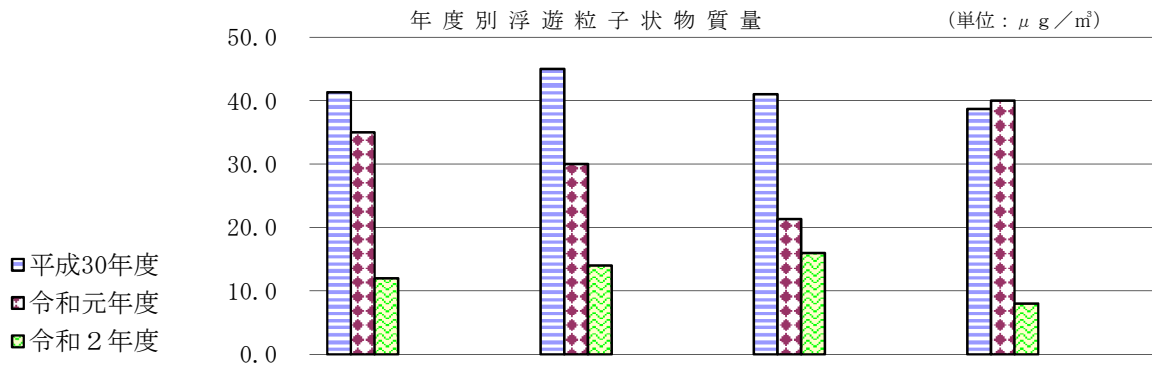
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：令和3年2月16日から同月19日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
平成30年度	41.3	45.0	41.0	38.7
令和元年度	35.0	30.0	21.3	40.0
令和2年度	12.0	14.0	16.0	8.0

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	令和2年度	前年度	令和2年度	前年度	令和2年度	前年度	令和2年度	前年度
鉛	0.002	0.004	0.003	0.004	0.005	0.004	0.002	0.004
マンガン	0.009	0.013	0.009	0.015	0.010	0.013	0.008	0.020
バナジウム	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002
全クロム	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：令和3年2月26日

調査事業所数：2事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(Wt%)
			令和2年度	前年度	
A	特A	1,000	0.05未満	0.07	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	—			
H	特A	1,200	0.05未満	0.06	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：令和3年2月24日・25日

調査地点：市内12地点

(単位：p p m)

No	調査地点(交差点)	測定値		環境基準
		令和2年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.015	0.016	0.06
2	武蔵野橋南	0.019	0.016	
3	熊川内出	0.014	0.012	
4	第五ゲート前	0.017	0.016	
5	福生志茂南	0.013	0.011	
6	多摩橋北	0.011	0.009	
7	福生駅西	0.012	0.011	
8	福生加美	0.011	0.010	
9	福生加美平	0.012	0.009	
10	福生市役所前	0.012	0.009	
11	武蔵野台北	0.011	0.011	
12	第二ゲート前	0.023	0.023	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：件)

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区 東部	0	0	0	0	2	0	0	2
区 北部	0	0	0	0	2	0	0	2
区 西部	0	0	0	0	5	0	0	5
区 南部	0	0	0	0	5	0	0	5
多摩北部	0	0	0	0	2	0	0	2
多摩中部	0	0	0	0	1	0	0	1
多摩西部	0	0	0	0	0	0	0	0
多摩南部	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	0	1	17	0	0	18

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質) …1 μ m以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和2年度	7.3	6.9	8.2	7.9	6.7	7.6	6.5~8.5
	令和元年度	7.4	8.4	8.1	7.1	7.1	7.4	
	平成30年度	8.2	9.2	8.0	9.1	8.7	8.4	
BOD	令和2年度	0.7	0.5	0.2	0.5	ND	0.5	2mg/l
	令和元年度	0.7	0.8	1.3	ND	0.3	1.7	
	平成30年度	1.2	1.7	0.8	0.2	ND	0.9	
SS	令和2年度	1.0	25.5	4.0	ND	ND	ND	25mg/l
	令和元年度	0.5	1.5	0.5	16.5	1.0	0.5	
	平成30年度	1.0	3.0	0.5	0.5	ND	0.5	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和2年度	7.7	6.7	7.7	7.4	6.6	7.9	6.5~8.5
	令和元年度	7.1	7.6	7.8	6.8	7.3	7.2	
	平成30年度	7.2	8.3	7.7	7.5	7.5	7.8	
BOD	令和2年度	0.6	ND	0.5	0.1	0.3	0.4	2mg/l
	令和元年度	0.4	0.7	0.8	ND	2.1	0.7	
	平成30年度	0.7	1.1	0.7	ND	ND	0.7	
SS	令和2年度	1.6	2.6	3.3	40.0	ND	1.3	25mg/l
	令和元年度	1.0	3.0	1.0	1.0	3.0	2.6	
	平成30年度	1.6	ND	1.6	0.3	ND	1.3	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和2年度	7.4	6.7	8.0	8.7	6.7	7.5	5.8~8.6
	令和元年度	7.6	7.8	8.0	7.2	7.1	7.8	
	平成30年度	8.1	8.6	8.0	8.4	8.5	7.8	
BOD	令和2年度	0.5	ND	0.7	0.5	ND	0.5	160mg/l
	令和元年度	0.5	0.8	1.1	0.5	0.8	0.5	
	平成30年度	0.8	1.2	0.6	ND	0.5	0.6	
SS	令和2年度	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	200mg/l
	令和元年度	ND	2.0	ND	3.0	1.0	ND	
	平成30年度	ND	ND	ND	1.0	2.0	ND	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和2年度	7.0	6.7	7.6	8.5	6.3	7.0	5.8~8.6
	令和元年度	7.4	8.0	8.1	7.2	7.2	7.7	
	平成30年度	8.7	8.2	8.2	8.1	8.7	8.1	
BOD	令和2年度	1.4	0.9	1.0	7.3	2.9	1.0	160mg/l
	令和元年度	1.8	0.9	1.4	0.6	0.9	3.8	
	平成30年度	2.1	1.9	0.9	0.6	1.5	1.2	
SS	令和2年度	3.0	3.0	2.0	10.0	ND	2.0	200mg/l
	令和元年度	4.0	2.0	1.0	11.0	2.0	4.0	
	平成30年度	3.0	1.0	ND	2.0	6.0	2.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

※ 平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		令和2年度		令和元年度	
採 水 月 日		6.11 (木)	11.5 (木)	6.6 (木)	11.7 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	4.9	2.4	1.1	4.7
気温	°C	31.0	17.0	28.6	18.0
水温	°C	26.9	15.0	23.4	16.6
外観		無色透明	無色透明	無色透明	淡白色濁
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度	cm	>100.0	>100.0	>100.0	15
pH (水素イオン濃度)		8.3	8.8	8.4	7.2
DO (溶存酸素)	mg/l	11.7	13.4	10.3	10.2
BOD (生物学的酸素要求量)	mg/l	2.4	0.6	1.1	0.5
COD (化学的酸素要求量)	mg/l	1.5	0.7	2.0	1.6
SS (浮遊物質)	mg/l	3	<1	4	10
T-CN (シアン化合物)	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/l	<0.01	<0.01	0.01	<0.01
T-N (全窒素)	mg/l	0.56	0.90	0.71	1.3
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/l	<0.003	<0.003	<0.003	0.009
T-P (全リン)	mg/l	0.008	0.004	<0.003	0.030
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数	MPN/100ml	33	23	140	170
カドミウム	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/l	<0.001	<0.001	<0.005	<0.005
総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	0.42	0.73	0.44	1.0
全亜鉛	mg/l	0.003	0.001	0.003	0.003
ノニルフェノール	mg/l	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：令和2年8月24日

検査項目	測定地点	測定地点										基準値
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	3.7	5.6	<1.0	3.8	6.1	4.6	2.7	3.9	<1.0	7.5	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	2.1	4.1	1.8	3.6	17	5.5	2.9	5.7	1.0	12	200以下
有機物(TOCの量)	mg/ℓ	<0.3	<0.3	<0.3	0.4	0.4	<0.3	<0.3	0.5	<0.3	<0.3	3以下
一般細菌	個/mℓ	5	1	130	120	16	4	52	85	4	3	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	検出	不検出	検出	不検出	検出されないこと
鉄	mg/ℓ	<0.02	<0.02	0.06	0.39	0.76	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	0.010	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		6.5	6.5	6.7	6.7	6.5	6.5	6.6	6.6	6.5	6.8	5.8~8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	検出されないこと
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	検出されないこと
色度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	3	3	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	0.004	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：令和2年9月17日

(単位：mg/ℓ[pHと水温を除く。])

検査項目	測定地点	A工場		基準値
		令和2年度	前年度	
pH(水素イオン濃度)		8.5	7.9	5.8~8.6
pH測定時水温		23.4℃	26.0℃	40℃以下
BOD(生物化学的酸素要求量)		2.6	3.5	160
COD(化学的酸素要求量)		6.2	9.1	160
SS(浮遊物質)		8	36	200
カドミウム及びその化合物		<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物		<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物		<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量		<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量		<0.05	0.07	2
溶解性鉄含有量		0.07	0.17	10

(5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日 令和2年6月19日

令和3年3月2日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		6月	3月	6月	3月	6月	3月	
pH (水素イオン濃度)		8.3	7.9	7.1	7.3	7.5	7.1	5.8~8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1.6	33	1.7	14	1.1	1.3	160mg/ℓ
SS (浮遊物質)	mg/ℓ	4	29	20	22	3	10	200mg/ℓ
ノルマルヘキサン抽出物	mg/ℓ	<1	<1	<1	1	<1	<1	30mg/ℓ
フェノール類	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5mg/ℓ
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	<0.1	1.2	0.3	2.7	<0.1	3.0	※
六価クロム	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5mg/ℓ
鉛及びその化合物	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1mg/ℓ
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/ℓ
総水銀化合物	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005mg/ℓ
アンモニア性窒素	mg/ℓ	<0.01	0.27	<0.01	0.15	0.02	0.01	100mg/ℓ
リン酸性リン	mg/ℓ	0.006	0.009	0.043	0.23	0.003	0.005	※
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	<0.02	0.14	<0.02	0.09	<0.02	<0.02	※
有機リン化合物	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/ℓ
有機物 (TOCの量)	mg/ℓ	1.8	13	1.6	12	1.0	0.7	※
セレン及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/ℓ
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/ℓ
全リン	mg/ℓ	0.023	0.15	0.079	0.70	0.016	0.062	16mg/ℓ
シアン化合物	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/ℓ

※は排水基準の設定なし

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	令和2年 11月17日 ～18日	令和2年 11月17日 ～18日	令和2年 11月17日 ～18日	令和2年 11月17日 ～18日	令和2年 11月17日 ～18日
昼間 上り	25,440	9,024	6,720	3,648	7,968
昼間 下り	23,136	8,448	7,008	4,992	4,704
夜間 上り	3,456	432	672	240	2,016
夜間 下り	3,408	720	672	288	1,104
合計	55,440	18,624	15,072	9,168	15,792
前年度合計	48,036	20,268	14,772	8,196	15,396

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	令和2年 11月16日～19日の うち3日間	令和2年 11月16日～19日の うち3日間	令和2年 11月16日～19日の うち3日間	令和2年 11月16日～19日の うち3日間	令和2年 11月16日～19日の うち3日間	
騒音 (Leq)	昼間	74	67	67	66	68
	前年度	73	67	68	65	67
	夜間	74	65	64	60	65
	前年度	73	64	64	60	64
環境基準	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ Leq = 等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝dB)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		令和2年 11月16日12時 ～17日12時	令和2年 11月16日12時 ～17日12時	令和2年 11月16日12時 ～17日12時	令和2年 11月16日12時 ～17日12時	令和2年 11月16日12時 ～17日12時
振 動 (L 1 0)	昼 間	44	30	28	25	52
	前 年 度	39	31	29	25	54
	夜 間	46	26	27	25	48
	前 年 度	41	27	27	25	49
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15140	75	74	45	40	68.7	51.7	438	330	638
2	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40440	65	60	38	33	85.7	80.2	852	797	994
3	立川青梅線 (福生市熊川204)	41470	70	65	36	35	96.3	96.3	207	207	215
4	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41590	66	61	38	33	57.8	53.3	52	48	90
5	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	62840	65	59	39	30	93.6	90	761	732	813
6	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	68.5	64.5	38	36	99.5	99.5	364	364	366
7	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	64.6	60.6	42	36	100	100	250	250	250
		41380-2	66	62	42	36	99.6	99.6	272	272	273
8	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	61	38	34	100	98.9	189	187	189
		61120-2	66.9	62.9	38	34	100	100	76	76	76
		61120-3	65	61	38	34	99.8	99.5	648	646	649
9	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	70.4	67.4	43	35	99.4	98.8	337	335	339
10	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	67.5	61.5	35	26	99	99	101	101	102
		41450-2	69	63	35	26	98.6	98.6	210	210	213
11	瑞穂あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	59.7	52.7	39	37	100	100	85	85	85
		61170-2	57.3	50.3	39	37	98.8	96.3	161	157	163
12	昭徳停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	69.5	65.5	46	41	-	-	0	0	0
13	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	48	39	67	46.9	140	98	209
14	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	67	64	43	36	100	99.7	390	389	390
15	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	67	60	37	32	99.8	99.8	585	585	586
16	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	59	51	43	38	100	100	278	278	278
17	国道16号 (福生市熊川456-1)	15130-1	56	53	43	42	100	97.9	192	188	192
18	立川青梅線 (福生市志茂208)	41490-1	68	65	41	36	99.9	99.5	751	748	752
19	立川青梅線 (福生市熊川139)	41540-1	66	60	37	33	100	100	151	151	151
20	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61260-1	63	60	37	34	100	99.7	342	341	342

※ 番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※ 平成29年度に実施した測定については、適正な測定結果が得られなかったため、欠測とする。

測定日時① 令和2年11月18日(水)正午から11月19日(木)正午まで(番号1から番号5まで)

測定日時② 令和元年6月13日(木)正午から6月14日(金)正午まで(番号17から番号20まで)

測定日時③ 平成30年6月28日(木)正午から6月29日(金)正午まで(番号13から番号16まで)

測定日時④ 平成28年7月7日(木)正午から7月8日(金)正午まで(番号9から番号12まで)

測定日時⑤ 平成27年11月5日(木)正午から11月6日(金)正午まで(番号6から番号8まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル(dB)	時間帯補正等価騒音レベル(dB)※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	1,756	1,201	545	10	106	64
5	1,195	889	289	17	103	63
6	1,528	1,049	461	18	113	64
7	1,179	941	222	16	109	62
8	1,751	1,390	342	19	115	67
9	889	740	126	23	114	67
10	1,230	928	286	16	114	65
11	1,187	964	210	13	99	62
12	888	657	221	10	112	62
3年1	1,366	1,005	341	20	109	64
2	918	659	239	20	110	62
3	1,488	1,195	271	22	120	67
合計	15,375	11,618	3,553	204		
前年度合計	14,089	10,526	3,376	187		
月平均	1,281	968	296	17	113	64

※ dB：デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル(dB)	時間帯補正等価騒音レベル(dB)※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	343	204	138	1	87	48
5	182	107	75	0	89	45
6	208	110	98	0	87	47
7	124	93	31	0	88	43
8	286	202	84	0	89	46
9	96	55	41	0	87	42
10	144	76	68	0	88	45
11	113	70	43	0	88	44
12	113	59	54	0	88	44
3年1	326	234	92	0	90	47
2	149	101	48	0	86	44
3	315	255	59	1	89	46
合計	2,399	1,566	831	2		
前年度合計	2,410	1,596	811	3		
月平均	200	131	69	0	88	45

※ dB：デシベル

※ 時間帯補正等価騒音レベル(Lden)：平成25年4月1日から航空機騒音の評価指標となったもので、影響が大きいとされる夕方と夜間の騒音に重み付けをして補正した値を、1日24時間で平均することで算出する。航空機の離着陸などに伴い発生する「飛行騒音」に加え、航空機が滑走路・誘導路上を移動する際の騒音やエンジンテストによる騒音等の地上騒音も測定・評価の対象となる。

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：令和3年3月9日(火)から同月12日(金)まで【昼間】

測定地点			騒音の大きさ (dB)			支配音
No	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(L _{eq})		環境基準	
			令和2年度	前年度		
1	準工業	一般地域	54	54	60	一般音
2	準工業	一般地域	49	48	60	〃
3	第1種住居	沿道	66	64	70	自動車音
	第1種低層	後背地	47	49	55	〃
4	近隣商業	沿道	66	67	70	〃
	近隣商業	後背地	54	54	60	〃
5	第1種低層	一般地域	46	46	55	自然音
6	第1種住居	沿道	70	68	70	自動車音
	第1種低層	後背地	46	53	55	〃
7	近隣商業	沿道	75	75	70	〃
	第1種低層	後背地	54	55	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	63	60	〃
	第1種低層	後背地	56	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	65	63	65	〃
	第1種低層	後背地	50	43	55	〃
10	第1種低層	後背地	48	47	55	一般音
	第1種中高層	沿道	59	60	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	65	63	70	〃
	第1種低層	後背地	47	53	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	54	51	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	54	55	60	〃
14	近隣商業	一般地域	52	47	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	51	53	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	75	74	70	〃
	第1種低層	後背地	51	52	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	51	52	55	〃
18	近隣商業	沿道	65	66	70	自動車音
	近隣商業	後背地	57	54	60	〃
19	第1種低層	一般地域	51	54	55	〃
20	第2種中高層	沿道	64	65	70	〃
	第1種中高層	後背地	51	52	55	一般音
21	商業	一般地域	63	62	65	自動車音
22A	商業	一般地域	60	62	65	〃
22B	商業	沿道	62	65	70	〃
	第2種低層	後背地	52	54	55	〃
23	第1種中高層	沿道	65	67	60	〃
	第1種低層	後背地	49	51	55	〃
24	準工業	一般地域	48	48	65	一般音
25	近隣商業	沿道	63	63	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	46	48	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	42	47	60	〃
27	工業	沿道	66	66	70	自動車音
	工業	後背地	50	50	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	44	44	60	〃
29	第1種住居	沿道	64	66	70	自動車音
	第1種住居	後背地	50	49	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のもので適用される。

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	3年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
土 壤 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音 ・ 振 動	2	4	5	5	1	3	2	1	1	0	2	2	28	18
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	22	12	26	6	21	4	4	6	6	14	8	6	135	144
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	1	10	13
雑 草	3	6	6	7	4	6	5	1	1	1	0	2	42	41
そ の 他	7	9	8	6	4	2	5	1	1	4	6	2	55	38
合 計	35	31	46	24	31	16	17	11	11	21	16	13	272	258

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	令和 2年度	前年度	区 分	令和 2年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	1
工 場 変 更 認 可	1	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	1	2
工 場 変 更 認 定	1	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	2
工 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	4	1	特 定 施 設 設 置 届	1	2
工 場 廃 止 届	1	0	特 定 施 設 変 更 届	1	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	6	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	23	13
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	10	11			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	令和 2年度	前年度	区 分	令和 2年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	0	苦 情 処 理	236	235
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	171	171
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	3	6			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア 福生地域ネコの会

令和2年度総会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議 4回開催

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第48号 1回開催

第49号 1回開催

※例年は各3回程度開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参集による開催は各1回とし、電話、メール及び郵送により編集作業を実施した。

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 5回開催

花いっぱい運動(春・秋) やなぎ通り・国道16号 2か所 2回

多摩川中央公園フラワーズゾーン花壇管理(除草・植栽・採種等) 12回

※春と秋の年2回実施を予定していた花いっぱいコンテストは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 1回開催(新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回中止)

福生打ち水日和 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(窓口にて手ぬぐいを配布)

環境マップづくりに係る会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

環境と共生のまちづくりセミナー「市民団体による懇話会」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

地球温暖化防止月間キャンペーン 1回開催

地球温暖化防止月間セミナー「脱炭素社会を考える『地球が泣いている』～日本のCO2削減、エネルギーはどうなるの～」 1回開催

(2) 福生市環境審議会

令和2年8月3日

- ・福生市環境基本計画実行計画(令和元年度計画進捗状況)について
- ・福生市環境基本計画実行計画(令和2年度計画)について

令和2年11月18日

- ・福生市環境基本計画第3期中期実施計画(素案)について
- ・福生市環境基本計画第3期中期実施計画の改定スケジュールについて

令和3年2月(書面開催)

- ・福生市環境基本計画第3期中期実施計画(案)について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全9回

第1回	8/10	多摩川の魚をつかまえよう	(51人、43人、11人)
第2回	9/13	多摩川の魚をつかまえよう	(22人、16人、9人)
第3回	9/13	誰でもできる簡単釣り体験	(21人、19人、8人)
第4回	10/11	バッタをゲット	(台風予報のため中止)
第5回	11/8	多摩川バードウォッチング	(20人、17人、10人)
第6回	12/13	クリスマスリースを作ろう	(37人、30人、8人)
第7回	12/13	手作り凧あげ	(26人、23人、7人)
第8回	2/14	かくれんぼ広場で冒険遊び	(緊急事態宣言のため中止)
第9回	3/14	多摩川バードウォッチング	(緊急事態宣言のため中止)
		計	(177人、148人、53人)
		合計	378人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全9回の活動を計画

(参考 令和元年度 全12回)

(5) 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全3回

第1回	8/2	水辺の散策路 ごみ拾い&草刈り	(23人、14人、12人)
第2回	8/10	水生生物をつかまえて水質をしらべよう	(16人、16人、9人)
第3回	1/10	川原のごみ拾い	(緊急事態宣言のため中止)
		計	(39人、30人、21人)
		合計	90人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全3回の活動を計画

(参考 令和元年度 全4回)

(6) 小中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小中学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校3校からの依頼により、計37回の学習支援を行った。

内容 巣箱かけ、植物昆虫観察、野鳥観察、水生生物観察など

参加人数 延べ1,666人

派遣講師 延べ54人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
-	-	20人	16人	166人	132人	20人
11月	12月	3年1月	2月	3月	合計	前年度
141人	192人	-	-	34人	721人	1,095人

※開館日数：70.5日(土・日曜日及び小・中学校夏休み期間)

※イベント(福生水辺の楽校)参加者も含む。

※4/4から5/31まで及び1/9から3/21までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館

※9/5午前は管理人不在のため休館

※10/10、11は台風の接近に伴い休館

(8) 環境学習教員研修

第1回	8/20	「福生の自然の変遷」	(19人)
第2回	8/21	「フィールドで学ぶ」水質調査、生物調査、川の安全学習	(17人)
			合計 36人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全2回の環境学習講座を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

第1回	9/12	北本自然観察公園へ行こう	(中止)
第2回	10/3	「株式会社せきづか」「加藤商事株式会社」見学	(中止)
			合計 0人

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
45匹	50匹	95匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として実施し、サイクルシェアリングのステーションの名称を「たっけー☆☆サイクルポート」に改めた。また、さらなる利便性の向上を図るため、福祉センター駐車場内にステーションの増設を行い、平成27年度から市内5か所のステーションで運用を開始している。

《実績》

会員数		令和2年度	令和元年度	平成30年度	
		980名	886名	814名	
収入	シェアリング利用	270,150円	228,150円	192,500円	
	一時利用	76,000円	126,700円	114,800円	
	合計	346,150円	354,850円	307,300円	
シェアリング 利用回数	くるみる ふっさ	貸出	909回	801回	859回
		返却	843回	733回	725回
	福生駅西口	貸出	301回	341回	343回
		返却	396回	345回	357回
	牛浜駅東口	貸出	640回	777回	634回
		返却	622回	826回	670回
	拝島駅北口	貸出	724回	627回	540回
		返却	726回	638回	521回
	福祉センター	貸出	747回	1,032回	796回
		返却	734回	1,036回	899回
合計		3,321回	3,578回	3,172回	
一時利用回数		124回	207回	192回	

(2) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

- 令和 3 年 2 月 2 日
- ・令和 2 年度事業について（中間報告）
 - ・令和 3 年度事業計画（案）及び予算（案）について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を書面で開催した。

(3) 普及啓発等事業の実施について

- ア ふっさライトダウンキャンペーン 2020（2 回）
- イ みどりのカーテン大作戦（参加 20 件）

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 26 年度から LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

(1) 本監査

日 程	監 査 対 象	内 容
令和 2 年 12 月 17 日から令和 3 年 3 月 11 日 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面で実施)	62 実行部門のうち抽出 18 実行部門、推進委員会及び事務局	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	5 回 (うち 2 回は 書面開催)	元年度実績の検証と 2 年度方針、目標設定、2 年度取組状況の報告、監査等について
目標設定チーム会議	1 回 (書面開催)	元年度独自目標の監査と 2 年度目標の審議について
環境マネージャー会議	3 回 (うち 2 回は 書面開催)	元年度実績の検証と 2 年度目標に向けた具体的取組手法の検討、2 年度取組状況の報告、監査等について
監査チーム会議	2 回 (書面開催)	監査の実施方法の確認、監査結果の振り返り、次年度への取組

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新人研修会	令和2年4月2日(1回)	2年度新規採用職員	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組について説明
職員個人調査	令和2年11月中旬から12月中旬まで	係長職以下の全職員(調査回答及びフィードバック)、小・中学校教職員、指定管理施設職員(フィードバック)	職員の環境配慮等に係る「正誤テスト」、「意識調査」、「自由記入」の3種類の設問による調査の回答及びフィードバック (中止した職員研修会に代わり、共通認識や意識醸成を図る機会として実施)
職員研修会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	職員、会計年度任用職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	-
監査直前研修会		全職員(希望者)	-

8 外来生物防除事業

アライグマ、ハクビシン及びクビアカツヤカミキリの市内における生息・被害状況の把握及び防除による自然環境や生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

(1) アライグマ・ハクビシン

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの捕獲、防除等を実施した。平成30年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種 名	目撃情報	捕獲防除実績
アライグマ	15件	29頭
ハクビシン	22件	44頭
合 計	37件	73頭

(2) クビアカツヤカミキリ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの捕獲、防除等を実施した。国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所と試験地提供に関する覚書を締結し、専門的な見地から調査及び効果的な防除を実施した。

- ・被害樹木への防除ネット設置 7か所
- ・被害樹木の見回り 60日
- ・被害樹木への薬剤散布 47本
- ・森林総合研究所による生息・被害状況調査の実施 14日

※8月に実施を予定していたクビアカツヤカミキリ防除に関する市民説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

9 緑化推進事業（花いっぱい運動）

（1）草花の苗配布（町会・自治会・学校・公共施設等）

苗の種類	配布数
サルビア・ペチュニア	14,400株
マリーゴールド	15,600株
パンジー・ビオラ	27,500株
葉ボタン	5,700株
合計	63,200株

（2）プランター等植栽事業

植栽地	内 容
やなぎ通りプランター	(春) ポーチュラカ 660株
	(秋) パンジー 656株
	(秋) ノースポール 224株
国道16号線ハナミズキ植樹ます	(春) ポーチュラカ 416株
	(秋) ビオラ 416株

10 緑化保存事業

（1）保存樹林地

種 別	件 数	筆 数	面 積
宅地介在山林	4件	6筆	2,300.00㎡
一般山林	2件	3筆	669.00㎡
合計	6件	9筆	2,969.00㎡

（2）保存樹木

件 数	本 数
34件	155本

（3）保存生垣

件 数	箇所数	延 長
125件	131か所	2,563m